

日本YMCA同盟

THE  
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.823 2023

2023年1月1日発行（毎月1日発行）  
1947年10月27日 第三種郵便物認可  
本体価格45円（外税）（送料63円）  
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟  
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号  
Tel 03-5367-6640 Fax 03-5367-6641  
URL : <https://www.ymcajapan.org/>  
発行人／田口 努 編集人／横山 由利亜



リスのかじり残したドングリを発見! (@日本YMCA大会)

OPINION

## “refocus the YMCA” 傷を負った世界を生きる

日本YMCA同盟 総主事 田口 努

「第22回日本YMCA大会」が11月25～27日、4年ぶりに「YMCA東山荘」で開催されました。大会のテーマは「refocus the YMCA」。前回2018年に東山荘で行われた大会は、YMCAの新ブランド立ち上げから1年目で、ブランドスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」をより拡げていくことを目指した大会でした。その後、誰もが予測できなかったコロナ禍を経た今、私たちは何を見つけ、何とつながり、どうよくなってきたのか。人と会えない困難さの中で、どのように「ポジティブネット」のある豊かな社会を創ろうとしてきたのかを、あらためてフォーカスし、YMCAの今を見つめました。

参加したユース世代からは、コロナ禍でつらかった思いが語られた一方で、久しぶりに対面で出会えた喜びと、コロナ後に向かおうとする意気込みが感じられました。「コロナ禍で見た社会の課題をしっかりと見つけて、新たなつながりを創っていきたい」「コロナ前には戻れないが、イエス・キリストが傷を負ったままの姿で復活したように、その傷を受け止めて新たな社会をつくりたい」。そんなユースたちの発言が印象的でした。

大会中、「日本一自慢」と称して10YMCAのユースたちが活動を紹介したプログラムでは、コロナ禍で顕著になった貧困問題に取り組む「学童キャンプ」（名古屋YMCA日和田キャンプ場）や、コロナで広がった差別やいじめに反対する「ピンクシャツデー・バーチャルウォーキング」（YMCAせとうち）など、コロナ禍での課題に取り組み、新たに「ポジティブネット」のある豊かな社会へチャレンジする姿を見ることができました。（＝2面特集）。

コロナでYMCAは、キャンプなど多数の活動が中止や変更を余儀なくされ、危機的な状況を経験しました。けれどもその先行きの見えない不安の中で、従来とは違った出会いを経験し、新たなつながりを得て、それぞれに「みつかる。つながる。よくなっていく。」働きを進めてきたことを、あらためて実感した次第です。

また大会では、ウクライナ避難者の声を聴くプログラムや、昨夏の世界YMCA大会で採択された「Vision 2030」について分かち合うなど、世界規模の課題を考えるセッションもありました。この「Vision2030」は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）とも連動して策定され、「①コミュニティー・ウェルビーイング」「②やりがいのある仕事」「③持続可能な地球」「④公正な世界」の4項目を柱としています。終わらない戦争、気候変動、人権侵害など、世界規模の課題が山積する中でのYMCA運動の方向を指し示す「北極星」ともいわれるビジョンです。日本のYMCAも今後このビジョンについて具体的に検討してまいります。地球環境に配慮し、あらゆる差別や格差をなくし、コミュニティー・ウェルビーイングを目指していくことこそが、確実に平和に向かう道なのではないでしょうか。

大会に参加されたウクライナ避難者からは、電気や水もままならない中で砲撃に怯える不条理や苦痛が語られました。一方で、独裁政権下で自由を奪われ苦しむ人々がいます。コロナ禍でみえてきた格差や孤立、社会の分断。一刻の猶予もない温暖化問題。そうした社会の傷に寄り添い、つないで、よりよいコミュニティーを築いていくこと。YMCAは引き続き、「みつかる。つながる。よくなっていく。」働きによって、分裂と憎しみが渦巻く世界をつなぎ、「ポジティブネット」のある豊かな社会の形成を目指して力を尽くしてまいります。

本年もどうぞ、皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

●全国のYMCAのさまざまな活動はこちらからもご覧いただけます。 <https://www.ymcajapan.org/>

## 第22回日本YMCA大会 東山荘で207人参加

2年に一度、全国のYMCA関係者が集う「日本YMCA大会」が11月25日～27日、御殿場の「YMCA東山荘」で行われました。今回はコロナ禍でオンライン開催だったため、対面で集うのは4年ぶり。依然として「コロナ第8波」が懸念されていたため、オンラインでも参加できるようハイブリッド形式で行ったところ、オンライン参加16人、会場には191人が集い、共に学びと交流を深めました。

今大会は、35歳以下のユース世代が参加者の40%を占め、実行委員会もコースで構成されるなど、ユース世代が活躍したことも特徴の一つでした。大会テーマの「refocus the YMCA」も実行委員が決めたもの。コロナ以前のYMCAを知らないユース世代も共に、2017年のプランディングに立ち返り、私たちは何をみつけ、誰とつながり、何がよくなってきたのか。世界規模の取り組みから日常のプログラムまで、国内外の多種多様な活動を学びながら、さまざまな視点でYMCAの今を見つめ直しました。

### YMCAアワード 全国YMCAの「日本一」自慢

大会では事前に、全国YMCAから自慢のプログラムを募集。22組の応募の中から選ばれた10組が会場で発表し、参加者投票によって下記3組が受賞しました。グランプリに輝いた名古屋YMCAには副賞として、プロのCM制作チームによるプロモーションビデオの制作権がプレゼントされました。

#### グランプリ **【標高・年齢差・笑顔が日本一!】** 日和田高原キャンプ場(名古屋YMCA)



標高1390m。全国のYMCAキャンプ場で最も標高の高い日和田高原キャンプ場では、名古屋市立の全小学生を対象に所得に応じた減免制度のある「学童キャンプ」を実施。高校生から81歳まで多様なボランティアスタッフと、企業など多くの支援で運営されています。ほかにも、中止されていた地域の伝統行事「火まつり」を復活させるなど、地域の課題に応える活動を展開しています。

#### ユース大賞 **ピンクシャツデー パーチャル・ウォーキング** (YMCAせとうち)



コロナ禍でも多くの方がピンクシャツデーに参画できるよう願って始めたウォーキングイベントです。期間中それぞれに歩き、その距離を合計したところ、今年は31,590km。世界一周を達成しました! 台湾やインドネシアからも参加があり、「はなれていてもつながっている」ことを実感。楽しんで歩くことで、いじめに向き合う人の数も増え、参加者は累計3722人となりました。

#### refocus 奨励賞 **被爆都市ヒロシマのユースリーダーがイベントを主催すれば参加者の満足率が日本一(広島YMCA)**



コロナの影響でしばらくイベントができなかった広島YMCAですが、今は半年に一度オンラインで「ユース平和ミーティング」を開催しています。7月のミーティングでは全国7YMCAから30人が参加。被爆者の体験談を聞くなどして平和について考えたところ、学びが深まったと高く評価されました。これからは平和な世界を創造するため、良い方法を模索しながら発信していきます。



#### 朝のアクティビティ ▶▶ 3日目

3日目朝は選択プログラム。礼拝のほか、体育館で「体を動かすプログラム」、YMCA東山荘内をめぐる「ふじさんぼ」を実施。雲一つない絶景の富士山を臨みながら、すがすがしい朝を満喫しました。



#### 礼拝 ▶▶ 1～3日目

「光とはどんなものでしょうか」。恵泉キリスト教会つばグレースチャペル佐久間健徳牧師(茨城YMCA理事)の、YMCAの原点に触れるメッセージで開会。2日目朝は、日本キリスト教団奈良教会主任教師で奈良YMCAチャプレンの汐碓直美牧師にお話をいただきました。



#### テーマ別かたり場 ▶▶ 2日日夜

「YMCAで感動したことを語る」「ウクライナ避難者の声を聴く」「野外料理の思い出を語る」などテーマ別の「かたり場」のほか、キャンプファイヤー、キャンプソングなど、6つのプログラムから2種類を選択して楽しみました。



#### キーノートセッション ▶▶ 1日目

基調講演に代えて、実行委員から大会テーマ「refocus」の意味や願いを紹介。会場では投稿サイト「イマキク」を使い、参加者とリアルタイムで意見交換しながら進行了。



#### YMCA表彰 ▶▶ 2日昼

YMCA運動に貢献された241人と1団体の表彰・感謝式。受賞スピーチでは、YMCAと共に歩まれた素晴らしい人生ストーリーが語られました。



#### 初のハイブリッド開催

会場参加だけでなくオンラインでも参加できるようハイブリッド形式で開催したところ、鹿児島など遠隔地からも参加がありました。

大会の報告はこちらのサイトをご覧ください。  
<https://sites.google.com/japanymca.org/assembly/>



### 実行委員のVOICE 私たちのリフォーカス

今大会の企画・運営は、全国から集まった10人のコースが担いました。オンラインで委員会を何度も開催し、テーマの設定からプログラム構成まで、話し合いを重ねながら作り上げていきました。大会にこめられた委員たちの思いを聴きました。

#### 石橋 遼大さん ▼名古屋YMCA

リーダーネーム | みつづー \*実行委員長(写真後列右から4番目)

ほくがリーダーを始めたのは2020年。コロナによる制限が続き、全国の人たちと出会う機会がないまま3年が経ちました。そんなときに対面での大会が開催されると聞き、これは最後のチャンスだと思って、その場で委員に立候補しました。

この3日間で年配の会員の方々や各地のスタッフ、同年代のリーダーなどたくさんの方と話をし、全国の人とつながれました。常に誰かと話さず、前に立って盛り上げたりしていたので、2泊3日で誰よりもしゃべっていた自信があります! こんな3日間は人生で初めてでした。いろんな人の考え方や思いを聞いて、YMCAの深さや広さ、大きさを真に理解できた気がします。全国規模の活動を一度でも経験したら満足して卒業できると思ってましたが、そんな考えは甘かったです。かえってやりたいことが増えてしまいました。YMCAに関わっている人たちはみんなこの気持ちを味わっているのかなと思うと少し嬉しくなりました。委員に立候補したときは不安もありましたが、やってよかったです! また皆さんと会うことを楽しみにしています。

#### 片山 咲さん ▼大阪YMCA

リーダーネーム | キキ(写真前列左から2番目)

私は4年間リーダーをしてきましたが、ずっとコロナで、自分の担当以外の人たちと交流する機会がありませんでした。先日初めて大阪YMCA大会に参加。司会を務めて、大勢の支援者の名前を読み上げたりする中で、「YMCAって大きいんだ」と実感。もっとYMCAを知りたいと思って大会に参加しました。大会では全国のさまざまな人が声をかけてくれて、YMCAの広くて大きくなつたに触れることができました。

大会では「日本一自慢」にも出たのですが、その準備のために私は2週間くらいずっと「YMCAのいい所」を考え続けました。期間中には各地のすてきな取り組みを知ることもできて、「いい所」をたくさん発見できたのは大きな収穫です。「いい所」を発見したことで、普段の活動にも、そこに参加している私自身にも誇りをもてるようになり、それが周囲にも広がっていく感じがしました。リフォーカスしたことで、パワーアップできたと思います。

#### 鈴木 夏乃子さん ▼茨城YMCA

リーダーネーム | セサミ(写真後列右から3番目)

最近、茨城YMCAでリーダー募集をする機会が増え、「YMCAの活動をどう伝えたいんだろう」と考えていたときにこの大会のことを知りました。YMCAにはまだ私が知らないことがたくさんある。一歩踏み出して、広い視点からYMCAを見てみたい。そう思って実行委員になりました。

大会中は、いろいろな世代の人と話をし、気持ちを共有できました。何より「生の声」を聴けて嬉しかったです。YMCAの魅力もたくさん知ることができました。知ることで、誰かの心とつながるきっかけができていく。そんな体験ができました。

今、茨城YMCAではスキーキャンプの準備をしています。そこでもキーワードは「つながる」です。コロナでできなかったキャンプを再開する。そのためには、YMCAの大切な魅力を伝えて、リーダーとメンバーをつないでいく。人の輪を広げて、過去から未来へと活動をつないでいく。それが私にとってのリフォーカスなんだと思いました。

## 「関係性の貧困」を防ぐ 親子の居場所 とちぎYMCAで新たな受託事業開始

現在、子どもと親に関わる課題のひとつとして「関係性の貧困」が挙げられています。周りに相談できる人がいない、生活習慣や学習の習得機会が十分でないなど、教育や経験、人とのつながりに恵まれていない状態のことです。関係性が貧困状態になると、自分に自信が持てない、将来に希望が持てないなどネガティブな思考になりやすく、またその状態が世代間で連鎖する傾向にあります。国の調査では、子どもの7人に1人が経済的貧困、4人に1人が関係性の貧困にあるそうです。



こうした状況を受けて宇都宮市では、市内5カ所で「親と子どもの居場所」を開設。そのうちのひとつをとちぎYMCAが受託することになりました。居場所の名前は「めいめい」。9月のオープン以来6世帯、計15人の親子が通っています。子どもたちには遊びや学習、季節行事などを通じてさまざまな経験をしてもらうこと、保護者には気軽に話せる機会や息抜きの場を持ってもらうようにしています。夕食は手作りのものを用意し、家庭的な雰囲気や季節感を心がけています。

子どもたちや保護者のみなさんと過ごすときに気をつけていることは、「スタッフと利用者」「支援者と支援される側」という関係性にならないこと、最大限リラックスできる場所として考えてもらえるように関わることです。初めて会ったときは緊張しながら「先生」と呼んでいた子どもたちも、今は笑顔でリーダーネームを呼んでくれています。これからも、あたたかな場所と時間をつくり、より多くの方とのつながりを持つことを目指していきます。

とちぎYMCA 田沼 瞬

## YMCA大会で聞いた 避難者の声

## ウクライナから日本へ

11月25～27日に開催された日本YMCA大会(=2-3面)の選択プログラムの一つとして、ウクライナ避難者とそのご家族が大会参加者と直接話す「かたり場」が行われました。

語ってくれたのは、2014年に日本に移住し、現在は横浜市やYMCAで相談員をしているオレーナさんと、9月に避難してきたオレーナさんのご両親、また2017年から日本に留学し今年4月にいとこ家族を呼び寄せたテンシャンさんの4人。流ちょうな日本語で質問に答えてくれました。



### Q 避難してきた子どもたちの様子は どうですか？

**A** 少しずつ日本語を覚えて馴染んでいる子どももいますが、中高生世代は日本の学校の授業についていけず、ウクライナ本国の授業にオンラインで参加していることが多いです。時差もあり、夜中にパソコンに向かう生活で、ひきこもりがちなのが心配です。

### Q 日本の食生活で不便はありますか？

**A** ビーツ(赤カブの一種)やサーロ(豚脂身の塩漬)など、ウクライナの家庭料理に欠かせない食材が手に入りやすく、困ることがあります。

### Q 避難者の方々は精神的に 状況だと聞いています。どんな支援が 必要でしょうか。

**A** 避難者は日本で知人が少ない上、自分だけ安全な場所にいる罪悪感もあって、楽しんではいけなくて自分を追い込み、閉じこもりがちです。少しずつ日本

語を勉強して仕事をするなど、自分の力が活かせる場をもつことが必要だと思います。

### Q 日本のメディアで報じられている ウクライナ情勢と、現地の実地の様子 に違いはありますか？

**A** 日本の報道は正しいと思いますが、残酷な映像はカットされています。私たちはもっと残酷で悲惨な場面を見ました。子どもも大人も関係ない、情け容赦のない攻撃が続いています。

### Q 今の気持ちをお聞かせください。

**A** ウクライナは節電で電話もつながりにくく、残された子どもたちが心配でたまりません。毎日泣いてばかりですが、今日、富士山を見ました。雲が晴れて富士山が現れたとき、希望を感じました。平和が戻ってくると信じます。

引き続き募金へのご協力をお願いします。

- ゆうちょ銀行 振替口座(振替貯金)  
00190-6-464236 日本YMCA同盟地域国際募金口
- クレジットカード・銀行振込は下記サイトから  
<https://www.ymcajapan.org/ukraine-donation/>



## 永年のご奉仕に感謝

加盟YMCAあるいは全国的なYMCA運動に対して貢献された方々241名と1団体の表彰・感謝の式が11月26日、第22回日本YMCA大会で行われました。表彰された方は、加盟YMCAおよび同盟から推薦され、表彰委員会で選考し、第381回同盟常議員会で決定されました。多くの方々のご奉仕に心から感謝いたします。表彰を受けられた方々のお名前は以下の通りです。(敬称略)

### 【25年勤続者賞】

仙台YMCA  
高橋 光子  
相澤 かよ  
高橋 祐子

とちぎYMCA  
岡野 裕子

東京YMCA  
田所 悦子

在日本韓国YMCA  
田附 和久

横浜YMCA  
宮崎 亮  
岩間 陽子  
村田 昭宏

名古屋YMCA  
東田 美保

奈良YMCA  
上地 信規

大阪YMCA  
北澤 圭太郎

神戸YMCA  
小寺 隆志  
坂本 孝司  
間 勝也

広島YMCA  
原田 芳文

熊本YMCA  
熊本 哲朗  
辻 健太郎  
牛嶋 加佐喜  
皆見 治男  
吉田 美華

日本YMCA同盟  
芹澤 多賀子

### 【25年継続会員賞】

北海道YMCA  
夏井 優希  
菅原 義則  
小林 睦  
太田 深雪  
前田 美茅  
奥貫 一之  
粥川 道子

千葉YMCA  
櫻井 礼子  
藤原 茂保  
増田 みすず  
目黒 勝彦

埼玉YMCA  
矢筈野 武久

東京YMCA  
石見 羽津映  
長谷川 あや子  
井上 泰子  
唐島 悦子  
矢島 清行  
久保田 貞規  
塩山 泰史  
瀧浦 泰郎  
高草木 多佳子  
布施 武夫  
坂口 創  
真野 範一  
北里 洋  
坂口 節子  
紅谷 聡  
小林 正幸  
上原 奈奈  
杉山 忠弘  
川添 一郎  
中村 周三  
渡邊 伸子  
後藤 恵  
郡山 信子

奈良YMCA  
穴戸 良朗  
林 佑幸  
与語 章浩  
大谷 昌三  
入江 彰二  
岡田 久美子  
有地 康子  
高田 富美  
松田 谷子  
服部 富美子  
春田 智子  
根岸 淑子  
田部 井 紀美子

大阪YMCA  
脇本 博

壇 信一  
曾我 芳子  
浜野 京子  
廣田 康人  
野本 多美子  
鷹取 正豪

横浜YMCA  
鈴木 新一  
西田 哲治  
飯田 明子  
久保 勝昭  
石井 徹夫  
石川 暁子  
齋藤 治子  
渡辺 芙美江  
高倉 幸子  
神田 敏之  
鈴木 喜美子  
小川 荘六

山梨YMCA  
野中 正文  
大塚 茂  
小倉 恵一  
伏見 葉子  
山脇 由子  
正木 岳馬  
松本 公夫  
鈴木 純

名古屋YMCA  
鬼頭 美恵子  
田中 万寿  
牧野 和博  
三井 秀和  
伊佐治 真  
春日 裕忠  
野村 靖子  
小尾 昌代  
服部 庄三  
下村 徹嗣  
伊藤 暢浩  
松本 淳子

滋賀YMCA  
瀬間 恭子  
安田 博彦  
林 宏一  
北村 正隆  
関口 儀彦  
西野 佐治郎

京都YMCA  
石田 賢三  
井上 晴雄  
岩本 敬子  
小幡 弘  
千賀 俊男  
立山 隆一  
田中 一馬  
田中 雅博  
谷口 豊  
中村 裕一  
西村 晶  
山内 哲  
山内 達也  
高橋 初枝  
桂 厚子  
福山 哲郎

奈良YMCA  
穴戸 良朗  
林 佑幸  
与語 章浩  
大谷 昌三  
入江 彰二  
岡田 久美子  
有地 康子  
高田 富美  
松田 谷子  
服部 富美子  
春田 智子  
根岸 淑子  
田部 井 紀美子

大阪YMCA  
脇本 博

保田 圭子  
阪本 聡子  
桑原 頼子  
江見 淑子  
佐藤 祐規子  
大岸 弘子  
福山 正和

和歌山YMCA  
仙石 康盛

神戸YMCA  
井出 浩  
井出 富光子  
上谷 円  
末岡 成夫  
高松 充世  
多留 寛明  
広瀬 克利  
広瀬 研治  
山田 貴子  
RONNI ALEXANDER

和歌山YMCA  
小林 由美子

広島YMCA  
黒瀬 真一郎  
杉田 孝

熊本YMCA  
今村 格  
布田 悟  
杉野 茂人  
平山 俊生  
江上 緑  
井川 みゆき  
木下 康  
秋山 真理子  
山尾 敏孝  
草本 昌子  
馬原 陽美子  
中満 弓子  
秋吉 睦  
岩切 由利香  
柏原 芳則  
山田 芳之  
村上 博  
田上 かつみ  
西八條 敬洪  
下田 知佐子

和歌山YMCA  
小林 由美子

錦織 一郎  
藤井 道雄  
田原 久美子  
松野 五郎  
森本 武  
神前 順次

神戸YMCA  
岩田 健司  
多留 浩惟  
牧田 稔  
山口 明子  
山本 良

和歌山YMCA  
神谷 尚孝

和歌山YMCA  
神谷 尚孝